



第8号 スキンケア・NST新聞



2012年10月発行

メンバー紹介：*石川医師 *詫間管理栄養士 *新田管理栄養士 *光原管理栄養士 *宇土Ns *深田Ns *井上Ns
*森本Ns *藤本ST *秋山歯科衛生士 *松井歯科衛生士



学ぶシリーズ Vacuum Assisted Closure (VAC®) 療法

VAC療法とは、創傷治癒を促進させる治療法で日本語では陰圧閉鎖療法といいます。これまで創傷に対して数多くの被覆材が登場してきましたが、創傷において、この50年で一番インパクトのある治療法の一つといえます。1993年Fleischmannらが創傷に陰圧をかけ管理すると治癒を促進させるという報告をし、1997年Argentaらが陰圧閉鎖するdevice（装置）を開発し報告しました。米国では、医療保険制度の追い風もあいまって、爆発的に普及しました。日本では、OriginalのKCI社の認可が2010年であったため、それまでは各施設で「お手製陰圧閉鎖療法セット」で治療されていました。

VAC®療法の利点としては

- 1、創傷治癒促進効果が大きいこと
- 2、洗浄、ガーゼ処置のように毎日処置が不要で患者様の負担を軽減すること、（週1~2回の交換）
- 3、移動可能で活動制限が少ないこと、などが挙げられます。

☆3階病棟入院中の大きなポケットありの褥瘡治療中の重症度の高い患者さんに使用中です。
うまくいきますように！！

水分から注入することでの効果……………

経腸栄養法も年々進化し続けています。栄養剤も種類が豊富になり半固形食もあたり前になってきましたね。注入の便利器具の種類も様々発明（？）され、看護の現場だけでなく介護の現場や在宅でも安全に栄養管理できるようになってきました。経腸栄養をされている患者さんの水分の注入のタイミングについては、様々な現場で研究がされていますが、誤嚥性肺炎のリスク軽減を目的に、最近では栄養剤注入の30分前に注入する現場が増えてきています。水分を先に入れることで消化管の蠕動運動を促し、水分の胃内停滞時間の短さを生かして、栄養剤より先に入れることで胃内のボリュームが増えたことによる誤嚥や逆流のリスクが軽減されているようです。当院も経腸栄養剤注入前の水分注入となり効果の見られる患者さんを4階井上Nsが紹介してくれます。



当院の褥瘡・NST患者状況

2012年 9月

褥瘡回診

2F：12名 3F：11名 4F：4名

計：31名

NST回診

2F：12名 3F：11名 4F：6名

計：29名

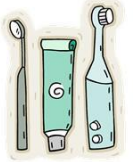


イリゲーター注入していた患者さんですが、空腹感があり量を増やした事で誤嚥性肺炎となり入院。家族の方と相談をして、ポース法に変更してみましたが、それでも嘔吐する状態でした。水分を先に注入し20分から30分時間を空けて栄養剤を注入することで嘔吐することがなくなり、満腹感も得られるようになりました。ご本人も家族の方も満足された事を微笑ましく思えた症例でした。

4階病棟 井上看護師



歯科衛生士のフク講座 …… 口腔ケアとはどんなことですか？



口腔ケアとは・・・

狭い意味では消化器官の最上部（始まり）を占める空間を言う。この空間は、口唇、口蓋、舌、歯肉、歯、頬で作られている。さらにこの空間は、食べ物を噛み砕き、唾液と混ぜ合わせ飲み込みやすいようにする。もう少し広く考えれば、消化管として口腔に続く扁桃、咽頭や喉頭の働きも理解する必要がある。

ケアという言葉は英語の care からきており、世話をする、保護をする、一時的に預かるという意味です。日本語でケアを意味する言葉はありません。

目的としては、健康増進、疾病予防、リハビリテーションであり、若干の診断や簡単な治療を含めることが多い。

ケアに似た言葉にキュアがありますが、これは治療と言うことになります。このキュアは、患者を対象に、特に病んだ臓器の治療を目標にすることが多い。ケアは患者及び健康人の人間全体を対象にクオリティ・オブ・ライフ（QOL）の向上を目標にします。

口腔ケアの定義として

「口腔の疾病予防、健康の保持増進、リハビリテーションにより、クオリティ・オブ・ライフの向上を目指した科学であり技術である」と考えています。

口腔ケアの具体例

- ・口腔清掃 ⇒ うがい、歯磨き、フロッシング、歯間清掃、綿棒やガーゼなどによる清拭、吸引による洗除法、歯石・歯垢除去、
- ・フッ素塗布
- ・義歯の装着と手入れ

中央法規出版 口腔ケア Q&A 口から始まるクオリティ・オブ・ライフ より



歯科衛生士への質問や要望募集中です。

経腸栄養のカテーテル・チューブの清潔保持・閉塞防止のために！

酢水ロック 酢1:水10 ……当院でもMチューブの方については酢水ロックの方向ですので学習しておきましょう。

長期間の使用によりチューブ内腔に栄養剤が付着し、悪臭や閉塞に原因となります。従来は、予防対策として水分のフラッシュを行なっていましたが、近年は酢水の充填によるカテーテルの汚染の予防が効果を上げ普及しつつあります。当院でも4階病棟のMチューブ使用中の患者さんが酢水ロックの試行中です。

小注入口から
酢水を注入す



酢水を注入後クランプ



クランプしたまま
注射器を外して
キャップを閉める



クランプ
(曲げ)
を解除する



注意

汚染したものをきれいにする効果はありません。交換したその日から酢水ロックを実施してください。

- * 経管栄養注入後の水分のフラッシュは勢い良く！
- * 酢水の注入はゆっくりとなるべく圧をかけた状態でクランプする

☆先端の胃液に浸っている部分は、2週間留置したMチューブは綺麗でした！ 胃液効果はすごいです。

